

いよいよ冬本番の寒さを感じるが増えてきましたが、子どもたちは元気いっぱい遊んで過ごしています。外遊びの準備をする時には「先生！上着、なくてもいい!？」と確認するほど、寒さなんてへっちゃらな子どもたちです。外に出た途端駆け出して、友だちと一緒に走ったり、鬼ごっこをしたり、声をかけて誘い合いながら楽しんでいきます。

先月から劇遊びの取り組みが始まりました。『おおきなかぶ』の物語にいろいろな動物たちが登場する特別版を題材にし、それぞれの動物になりきったり、元気な声で歌ったり、とても意欲的に楽しんでいきます。自分のやってみたい役を決める時にも「ねこやりたいけど、らいおんもやりたいなあ…」と悩むほど、やる気いっぱいの子子どもたちです。

『いもほりのうた』の中にある「うんとこしょ、どっこいしょ〜♪」の部分が大好きな子どもたちは、劇中のかぶを抜こうとする場面では全身で喜びや楽しさを表現しています。少し緊張している様子も見られますが、友だちと一緒に力を合わせて声を出すことや、動きを表現することの楽しさを感じています。日々の積み重ねや一人ひとりのありのままの表現を大切に見守り、当日も過ごしたいと思います。お家の方々も2月16日(金)の保育参観日を楽しみにしてください。



リサイクル素材を使い、節分の鬼を表現していた時のことです。それぞれに鬼をイメージして子ども同士で相談し、素材となる箱を床に置いて組み合わせていました。

- Aくん「ツノ、これにしようよ!」
- Bくん「なんぼんにする?2ほんやな!」
- Cちゃん「おしりもつけようよ。」
- Dちゃん「じゃあ、おなかもいるかな?」
- Eくん「ツノもつつける?」

それぞれがアイデアを出し合い、相手の思いを聞き入れながら進めていく姿に成長を感じました。

例年に比べて暖かい冬と言われていますが、寒さが厳しい日も増え、冬の寒さを感じながら、日々子どもたちは外で元気いっぱい体を動かしています。雪が降った日には、雪がちらつくたびに「ゆきだー!」と大喜びの子どもたちでした。1月は凧揚げやこま回し、餅つきとお正月ならではの経験を楽しみました。また、毎日いろいろな鬼の歌をうたったり、鬼の面を作ったりして楽しんでいきます。

ひつじ組では今、「金のがちょう」の劇遊びに取り組んでいます。面白い話題で笑い合うことや友だちと一緒に楽しい表現で喜び合うことが大好きな、明るく元気な子どもたちにピッタリなお話です。子どもたちの好きな曲に合わせてどんな歌詞やダンスがいいか、お姫さまが笑うにはどうすればいいか、必要な小道具等を話し合い、子どもたち中心にお話作りが進められています。大学の森まで聞こえるくらい大きな声を出す!と子どもたちは張り切っています。

劇遊びをする中で、友だちとイメージを共有し、一緒に表現をする楽しさを感じたり、一人ひとりが声を出したり、楽しく歌い踊ったりすることで、「楽しいな、もっとこんな風に表現してみたいな」という意欲的な気持ちを自信に繋げていけるよう、日々の取り組みを大切にしていきたいと思っています。

2月16日(金)の保育参観日を楽しみにしてくださいね!



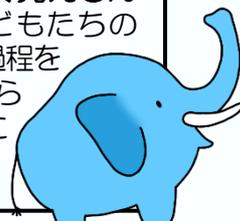
『おまじないぺらぺら』という鬼を題材にした歌が大好きで「ぺらっぺらっぺらっ〜♪」と元気いっぱい歌っています。

同じく節分の童謡、『まめまき』も歌っています。その歌詞の一部に「ぱらっぱらっぱらっ まめのおと〜♪」とあります。ある日、ついつい『おまじないぺらぺら』の歌詞につられて、「ぺらっぺらっ〜…まめのおと〜♪」と歌ってしまい、かわいい豆まきの音に思わず笑みがこぼれました。

寒さが厳しい季節となりましたが、子どもたちは寒さを吹き飛ばすほど元気いっぱい戸外で遊んでいます。体を動かすことが大好きで、ドッチボールや鍵鬼、サッカーなど楽しんでいきます。友だちと一緒に協力し相談しながら遊びの準備をする姿や、以前よりも活発になってきた体の動きにたくましさも感じています。

さて、今月は2月16日(金)に保育参観日があります。子どもたちと話し合いをする中で、『かにむかし』(さるかに合戦)の劇遊びをすることになりました。この絵本を読んでいる時、カニと仲間たちとの言葉のやり取りを読み手と声を揃えて嬉しそうに言う姿が見られ、物語が子どもたちの心を掴んでいるのが伝わってきました。それぞれの役の動きや言葉の表現方法、歌の歌詞や必要な大道具、小道具など、子どもたちと話し合いながら作り進めています。

「先生、ここには海が必要なんじゃない?」「きび団子は人数分必要だよね」「はぜ棒の動きは、ジャンプしたら背が高くて細く見えるんじゃない?」など、様々な考えを次々とし合う中で子どもたちの発想の豊かさを感じています。みんなの考えが形になっていく過程を楽しみ、一つの劇を作り上げる達成感や充実感を味わいながら保育参観日の日を迎えられるように、日々の取り組みを大切に積み重ねていきたいと思っています。



卒園を2ヶ月後に控え、小学校での生活についての話が日常でよく聞かれるようになってきました。そんなある日の会話です。

- Aくん「小学校にも行きたいけど、センターとお別れするのはちょっと寂しいな」
- 保育者「保育センターにも育成センターがあればいいのにな。」
- Bくん「園長先生に頼んで、きりんぐみ作ってもらえばいいんじゃない?」
- Aくん「ちょっとお願いしてくるわ。」

その日のうちに、園長先生に直談判しに行っていました。子どもたちの行動力に脱帽した担任です。